

札幌学院大学社会情報学部 AO入試課題用テキスト

HTMLの基礎知識 (1)

1. はじめに

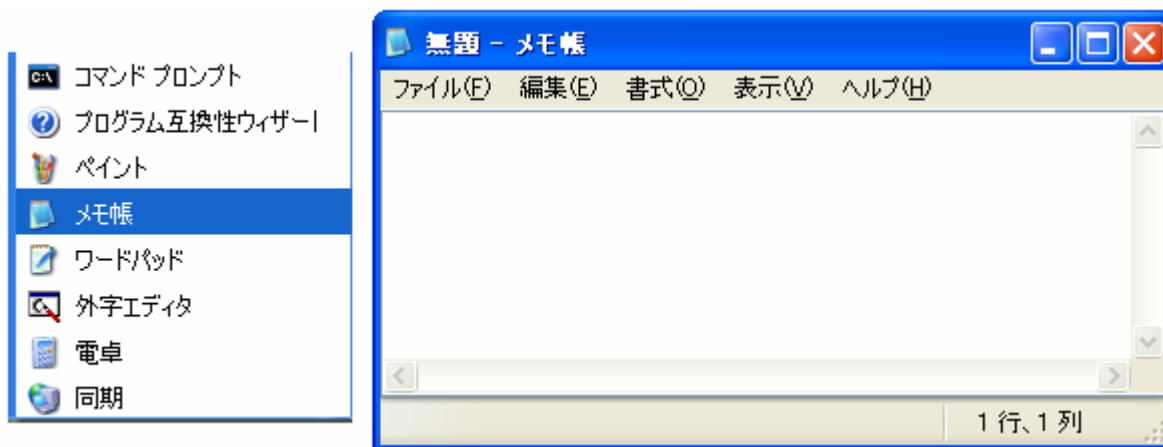
ホームページ(以下、HPと略す)として文章や画像などをコンピュータで画面表示する基本的な方法として、HTMLの約束事に従って文書を作成し、それをブラウザ(代表的なものは Internet Explorer, Netscape Navigator)に解釈・実行させる方法がある。HTMLは『Hyper Text Markup Language』の略で、一種の言語である(Language=言語)。以下ではInternet Explorer(以下IEと略す)を使う場合を想定して説明を行なうことにする。



\*\*\*\*\*

2. HTML文書の作成とブラウザによる表示(基本的な流れ)

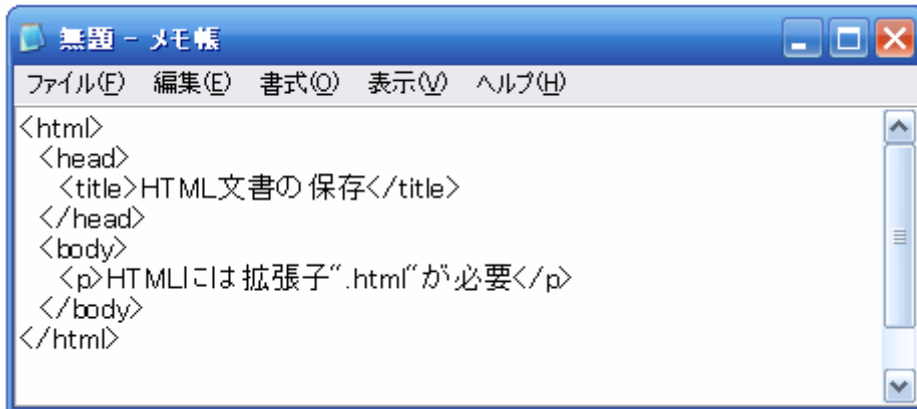
細かな説明はその都度行なっていくことにして、まずはHTML文書作成の基本的な流れを見ておこう。Windows で『すべてのプログラム』⇒『アクセサリ』⇒『メモ帳』の順に操作し、下図のようなメモ帳を起動する。このメモ帳をテキストエディタ(文章を編集するためのソフトウェア)として使う。



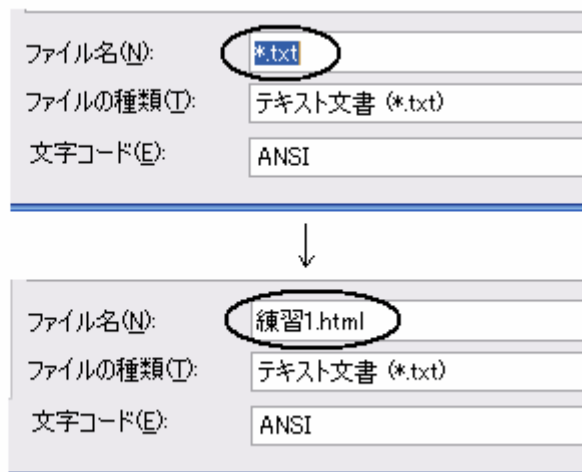
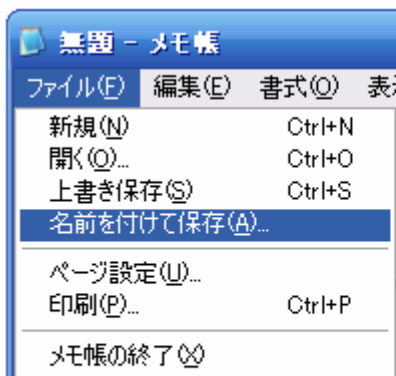
(注:ここでは Windows XP の画面を使って説明している。Windows2000 でも基本的な操作は同じである。)

メモ帳に次のように入力しよう。<html>、<head>などの部分は半角入力である。(空白を入れる場合も半角で入

力する。全角で入力しないように注意しよう。)



入力が出来たら、「ファイル」→「名前をつけて保存」を選択し、ファイル名を『練習1.html』と変更してフォルダに保存する。



**注意事項：**

上記のファイル名の「 html 」を拡張子(かくちょうし)と呼ぶ。

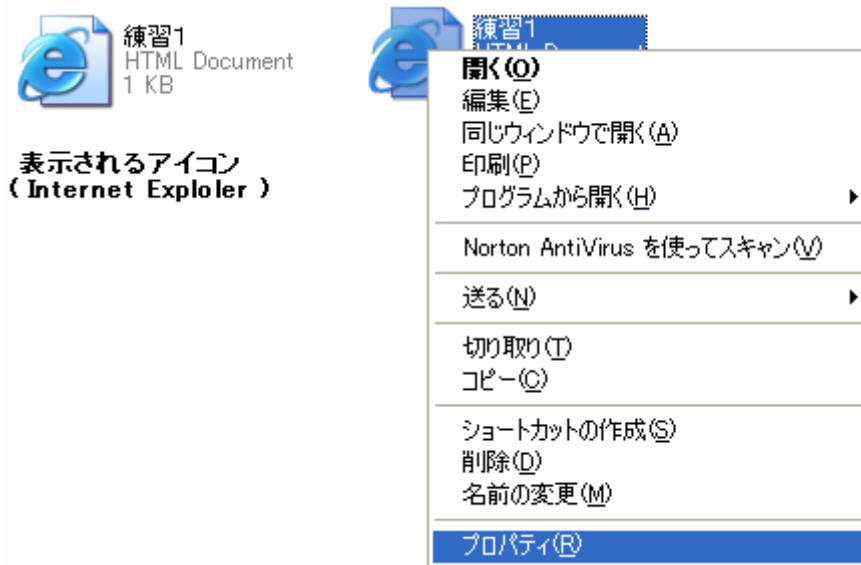
**練習1.html**

拡張子

拡張子はコンピュータが扱うファイルの種類を区別するためのものである。  
拡張子の前に半角のピリオド「 . 」をつける。

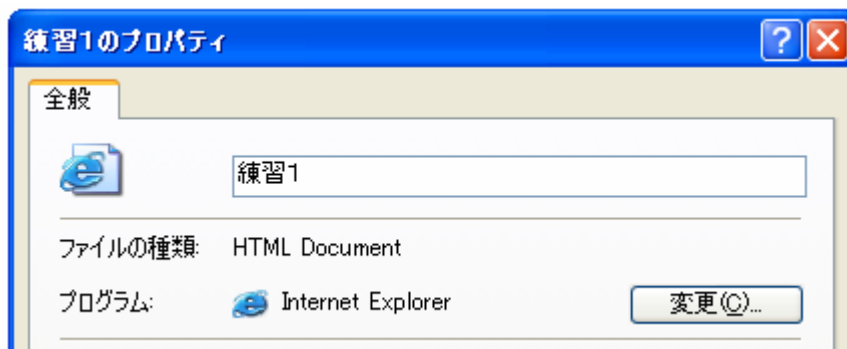
拡張子htmlを付けることによって、ブラウザはそのファイルを HTML 文書として扱う。(メモ帳のもともとの拡張子は「 txt 」である。)

ファイルが保存されると、下図左のようなアイコンが表示される。これはHTML文書として保存されたことを意味する。このことを確かめてみよう。このアイコンを右クリックすると、下図右のようなメニューが表示されるので、『プロパティ』を選択する。

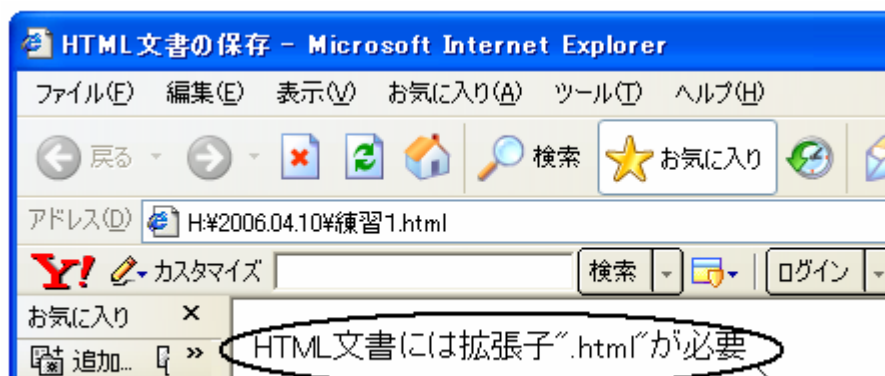


表示されるアイコン  
(Internet Explorer)

この結果、下図のようにファイルの種類が『HTML Document』と表示される。

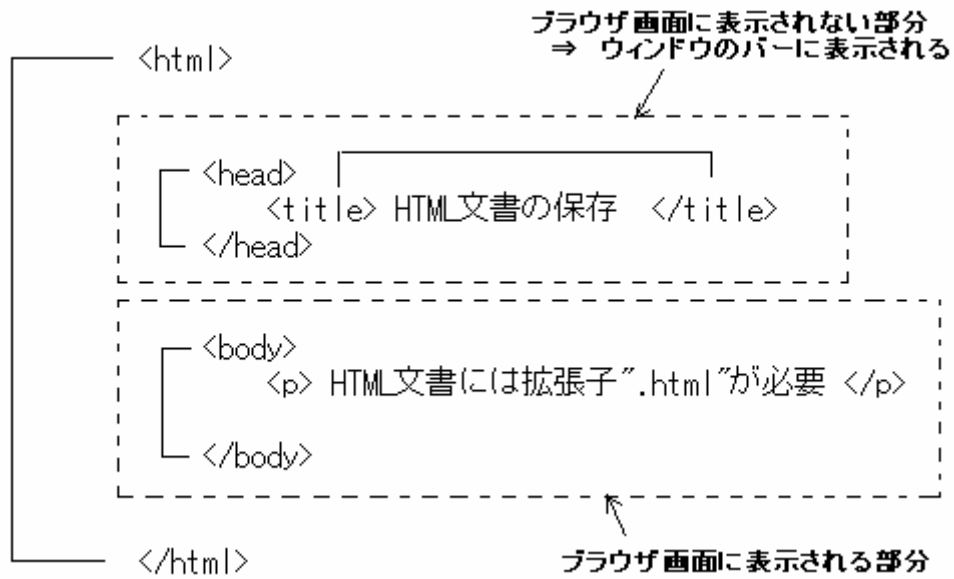


今度は、アイコンを『ダブルクリック』してみよう。ブラウザ(IE)が起動されて、以下のように文章が表示される。これがHP上での表示である。

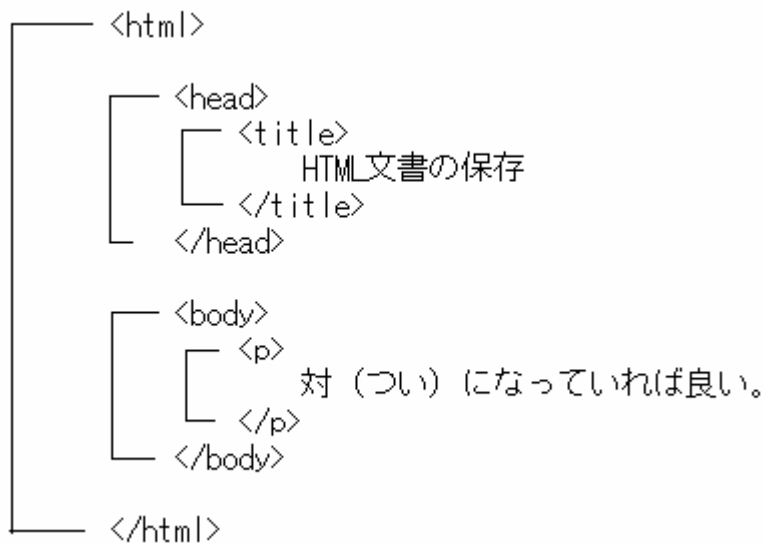


ブラウザ上の表示

ここで、HTML文書のなかで、ブラウザ画面上に表示される部分と、それ以外の部分があることに注意しよう。



<head>と</head>、<body>と</body>のように対(つい)になっている記号は、互いに対になっていることが保証されていれば、文書内でのタグの位置は特に固定されない。

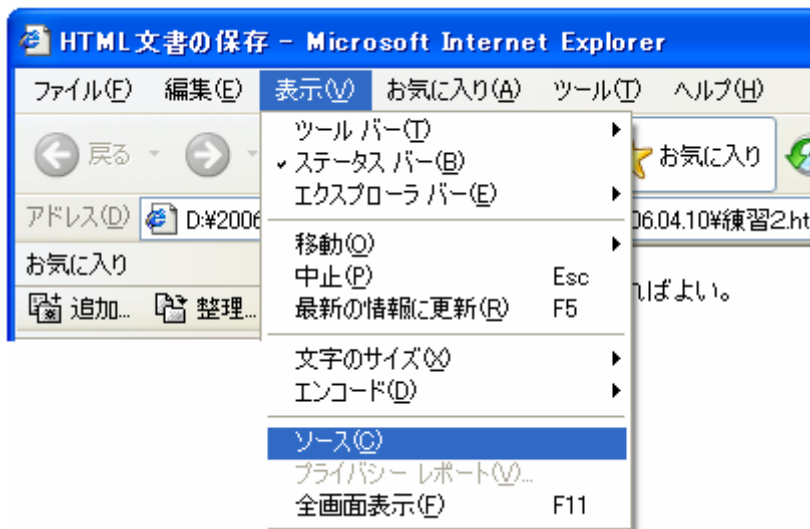


これをIEで表示すると以下のようなになる。

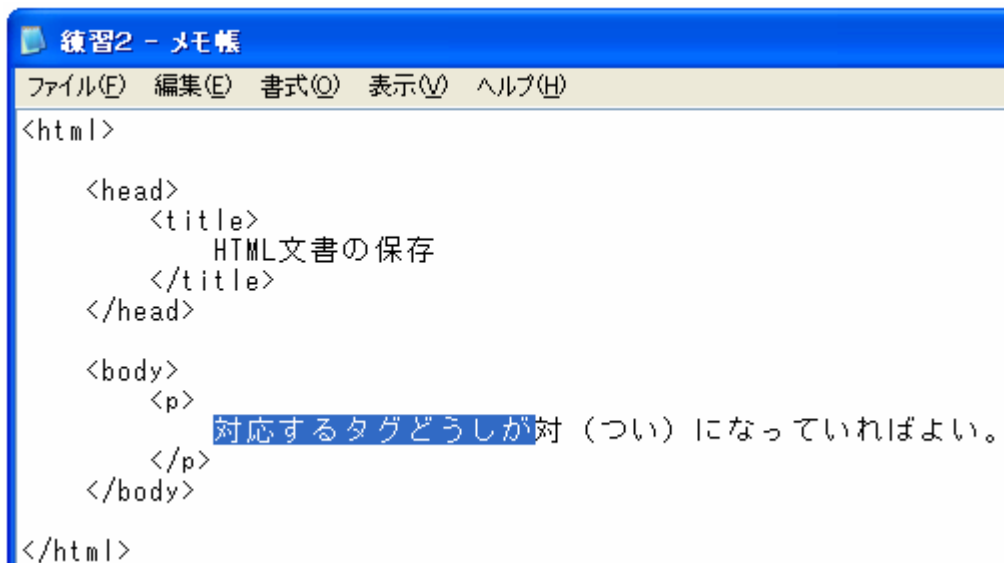


HPを作成する作業は『HTML文書作成』⇒『ブラウザによる画面表示の確認』の繰返しである。

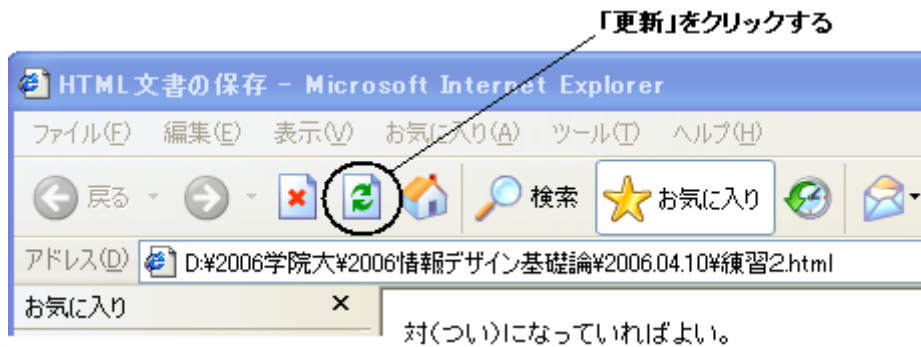
ここで表示後に文書を開いて編集する方法を確かめておこう。まず、IEで『表示』⇒『ソース』を選択する。



文書を作成するときに使用したメモ帳のファイルが開かれるので、ここで文章の修正などを行なう。



このメモ帳のファイルを「上書き保存」する。そして、IEの「更新」をクリックする。



この結果、次のように表示される。



ここで、再び「表示」→「ソース」を選択すると、HTML 文書が更新されていることがわかる。

\*\*\*\*\*

### 3. タグとマークアップ

『 < 』や『 > 』で囲まれたマークを『タグ』と呼ぶ。HTML文書中に含まれる『見出し』、『表』、『イメージ(画像)』、『段落(文章)』は『要素』とよばれ、タグによって文書中の要素が示される。前述のHTML文書で、<p>と</p>は段落と呼ばれる要素を示すためのタグである。以下の例では、「対になっていれよい」という文章が段落の要素である。

タグは多くの場合に、対(つい)になって使われ、『開始タグ』と『終了タグ』との間に要素を記入する。

```

<html>
  <head>
    <title>
      HTML文書の保存
    </title>
  </head>
  <body>
    <p> ← 開始タグ
    対 (つい) になっていければ良い。
    </p> ← 終了タグ
  </body>
</html>

```

文書にタグをつけていく作業を『マークアップ』と呼ぶ。冒頭で記したように、HTMLのMはMarkupの意味である。

\*\*\*\*\*

### 3. 簡単なHTML文書の作成

#### 3-1 見出し

見出し用のタグは、最もレベルの高い見出しの場合、開始タグが<h1>、終了タグが</h1>である。見出しは6段階あり、h1 から h6 までで区別されている。

```

<html>
  <head><title>見出しの説明</title></head>
  <body>
    <h1>1番目のレベルの見出し</h1>
    <h2>2番目のレベルの見出し</h2>
    <h3>3番目のレベルの見出し</h3>
    <p>レベルはh1からh6までの6段階がある。</p>
  </body>
</html>

```

ブラウザによる表示結果は以下の通りである。見出しレベルの違いによって文字の大きさが異なっている。

**1 番目のレベルの見出し**

2 番目のレベルの見出し

3 番目のレベルの見出し

レベルはh1からh6までの6段階がある。

\*\*\*\*\*

### 3-2 改行

改行したい位置に<br />を記入する。『 br 』と『 / 』の間に半角の空白を入れることに注意しよう。

```
<html>
  <head><title>改行の説明</title></head>
  <body>
    <h3>改行位置を指定することができる。</h3>
    <p>文章を途中で改行したい場合には、<br />改行タグを用いる。</p>
  </body>
</html>
```

表示結果は次の通りである。

**改行位置を指定することができる。**

文章を途中で改行したい場合には、  
改行タグを用いる。

\*\*\*\*\*

### 3-4 リスト

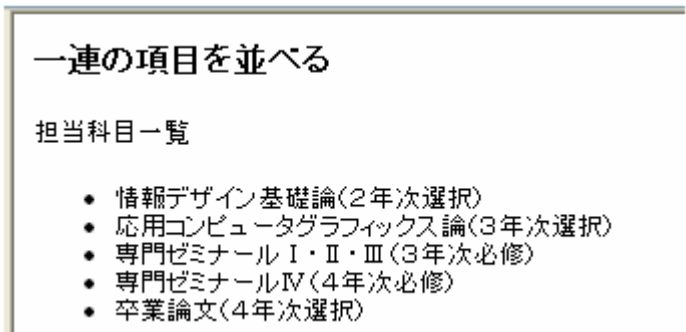
一連の項目を並べるときにはリスト要素を使う。リストは<ul>と</ul>の間に<li>と</li>で囲んだ各項目を書く。



```
<html>
  <head> <title>リスト要素</title> </head>
  <body>
    <h3>一連の項目を並べる</h3>
    <p>
      担当科目一覧
    </p>
    <ul>
      <li>情報デザイン基礎論 (2年次選択) </li>
      <li>応用コンピュータグラフィックス論 (3年次選択) </li>
      <li>専門ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ (3年次必修) </li>
      <li>専門ゼミナールⅣ (4年次必修) </li>
      <li>卒業論文 (4年次選択) </li>
    </ul>
  </body>
</html>
```

注) <ul>はアルファベットのユーとエル、<li>はエルとアイである。  
小文字 l を数字の 1 と間違わないように。

表示結果は以下の通りである。リストで列挙する項目の先頭には●が自動的に表示されている。



\*\*\*\*\*

### 3-5 見出しと段落の組合せ

上記の見出しに説明文を付け加えてみよう。説明文を書くために段落要素の <p> </p> タグを使う。改行するために空要素を使っている。(以下のリストで次の行の先頭まで続いている部分は、ソースでは1行である。)

```
<html>
```

```
<head> <title>リスト要素</title> </head>

<body>
  <h3>一連の項目を並べ説明文を入れる</h3>

  <p>
    担当科目一覧
  </p>
  <ul>
    <li>情報デザイン基礎論(2年次選択)</li>
    <p>情報の受け手を意識し情報発信を行なうための Web ページの作り方を習得します</p>
    <li>応用コンピュータグラフィックス論(3年次選択)</li>
    <p>アプリケーションソフトを使った3DCG(3次元コンピュータグラフィックス)制作の講義と<br />実習を行ないます。</p>
    <li>専門ゼミナール I・II・III(3年次必修)</li>
    <p>CG(コンピュータグラフィックス)のモデリングや作図方法などに関する基礎知識、CG<br />制作やホームページ作りの基礎を学び、コンピュータ上で作品を作ることを経験します。</p>
    <li>専門ゼミナールIV(4年次必修)</li>
    <p>3年次の専門ゼミナールで取り組んだ自由課題の自己評価と改善、プレゼンテーション<br />を行ないます。</p>
    <li>卒業論文(4年次選択)</li>
    <p>学んだ基礎知識を応用し、その成果を公表するまでの(試行錯誤を含む)一連の過程<br />を経験します。</p>
  </ul>

</body>

</html>
```

表示結果は次の通りである。

## 一連の項目を並べ説明文を入れる

### 担当科目一覧

- 情報デザイン基礎論(2年次選択)

情報の受け手を意識し情報発信を行なうためのWebページの作り方を習得します

- 応用コンピュータグラフィックス論(3年次選択)

アプリケーションソフトを使った3DCG(3次元コンピュータグラフィックス)制作の講義と実習を行ないます。

- 専門ゼミナール I・II・III(3年次必修)

CG(コンピュータグラフィックス)のモデリングや作図方法などに関する基礎知識、CG制作やホームページ作りの基礎を学び、コンピュータ上で作品を作ることを経験します。

- 専門ゼミナールIV(4年次必修)

3年次の専門ゼミナールで取り組んだ自由課題の自己評価と改善、プレゼンテーションを行ないます。

- 卒業論文(4年次選択)

学んだ基礎知識を応用し、その成果を公表するまでの(試行錯誤を含む)一連の過程を経験します。

\*\*\*\*\*

### 練習問題1

「高校生活の思い出に残る出来事ベストスリー」のHPを上記の要領で作成してみよう。

#### 私の高校生活の思い出に残る出来事ベストスリー

- 出来事1

説明文(200字程度)

- 出来事2

説明文(200字程度)

- 出来事3

説明文(200字程度)